

ねんきん埼玉

2023年10月15日
第335号

全日本年金者組合 埼玉県本部
〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-53-16
TEL 048-686-2044 FAX 048-686-2144
メール: nenkinsaitama@kzh.biglobe.ne.jp



年金埼玉共済会 第34期理事会

午後には共済学校開催

10月12日の秋の共済拡大キャンペーン

年金埼玉共済会の第34期理事会総会と共済学校が、9月22日にさいたま共済会館で開かれ、85名が、出席しました。理事会総会には全労連共済、福祉葬祭、フロロネットワーク

の代表が来賓としてご列席いただき、中央本部からのメッセージが紹介されました。全労連共済の佐久間氏は、全労連共済の火災共済で2023年1月から値上げせずに地震等見舞金を制度化したこと、さらに自然災害の保障をアップする

自然災害特約制度について検討していること、そのためにアンケートを取り組むことなどを紹介しながら10月12日の秋の共済拡大キャンペーンで春と同じ「1件1000円の補助金を交付するので行動

を」と呼びかけました。

提案された事業報告・

会計報告・会計監査報告・事業方針・予算の議案はすべて承認され、10人の役員を選出して理事会総会は幕を閉じました。

学習会に県共済会からも20000円の補助金

全労連共済は「説明会・学習会」開催に補助金30000円を交付しています。それに伴い今までより学習会開催回数が増加しています。学習会を開催すれば、加入者は増えます。そこで、県共済会から20000円をプラスして交付することにしました。「小さな掛金で大きな保障」のメリットを学び、全労連共済の加入者と組合の仲間を増やしましょう。

午後からは共済学校

福祉用具レンタル助成

サービスについてもつと知りたいというご意見をいただき、フロロネットワークの藤沢さんをお願いして説明いただきました。来年チラシを新しく作ることに、支部の要請があれば学習会にも出向く旨のお話もありました。

また、石井専務理事から組織共済、行事スポット共済、火災共済、交通災害共済、個人賠償責任保険についての概略と更新時期の交通災害共済の事務について説明がありました。

共済学校についてのアンケートには69枚が寄せられ、「講師がでける」や「講師をやってみてみたい」にたくさん印がついていました。(石井 力)

狼煙

2023. 10.1

秋の拡大月

間が始まり「どう取り組むか」議論していると思えます。「埼玉

県の高齢者人口の1%を目標とする。▼埼玉県の高齢者人口(65歳以上)の推移を調べました。1995年68万人、2000年89万人、05年116万人、10年146万人、15年179万人、20年196万人でした。急に増加しています▼今後はどうでしょう? 25年203万人、30年208万人、35年216万人と推計されています。ほぼ横ばいですが40年まで増え続けます。少子化が進んでいるのに、どうしてこうなるのか? 20年から40年までに85歳以上の人口が2倍になるからです。(27万人が54万人へ)▼このことを意識した取り組みをして、年金者組合への加入を訴えたいと思えます。高齢者にも住みやすい自治体づくりは急務な課題です。交通空白・不便な地域に高齢者が暮らすことは困難です。便利な交通網を作る必要性を、自治体の長・議会に訴えていきたいと思います(S)

シリーズ 最高裁で勝利判決を

「上告理由書」で主張していること ①

2023年5月 件控訴を棄却する」
 25日、東京高裁で不 と判決文を読み上げ
 当判決が出されまし 法廷から逃げるよう
 た。永谷典雄裁判長 に去っていきまし
 た。柳重雄弁護士は



第6次最高裁要請行動でこれまでの運動の
 成果を報告する加藤健次弁護士 10月3日

「これまで7年猶予に渡って年金生活者の実態を明らかにしてこの裁判を闘ってきたが、血も涙のかけらもない判決に言葉がない」と怒りの声をあげました。

私たちは当然のことながら最高裁への上告の道を選びました。全国30番目の最高裁上告となりました。埼玉弁護士は、「上告理由書」を2023年8月28日付で提出しました。この「理由書」は118ページもあります。見出し、小見出しだけ集めてみましたが、7ページにもなりませんでした。この見出しだけ見ても、高裁判決のどこが問題（受け入れられない）か、そして、その根拠は何か、私たちはどのよ

うな年金制度を求めているのかがわかります。8年にわたる裁判活動の集大成と言っていいでしょう。最初に最高裁へ上告した山梨事案から1年が経過しました。最高裁への要請行動も6次に渡って行ってきました。国を追い詰めています。あとひと頑張りです。次回から「理由書」の中身を見ていきます。裁判勝利への道をみんなで切り開いていきましょう。

上告理由書の学習会

期日：12月7日（木）13：30
 会場：与野本町コミセン小ホール
 講師：斉藤耕平 弁護士
 最高裁へ提出した「上告理由書」の内容を斉藤弁護士が語ります。

天然醸造「はつかり醤油」

松本醤油商店

川越支部 白井美智子



小江戸川越は秋になり観光シーズンを迎えました。蔵造りの町、中程を1本裏に入ると松本醤油店があります。こちらの「はつかり醤油」は約250年前から日本古来の天然醸造方式により木桶の中で2年間熟成、発酵させて作られます。また江戸時代の文政期から今に伝わる醤油蔵は都市景観重要建築物に指定されています。工場見学は土・日・祝ですが人数が整えば平日でも可能（事前予約）。社長自らご案内します。醤油の他、乾麺漬物、川越のお酒「鏡山」など販売しています。

アクセス

電車：西武新宿線・本川越駅[東口]徒歩11分
 所在地：川越市仲町10-13
 問い合わせ：049-222-0432

あのまち
 このまち
 新発見

北埼玉ブロック決起集会



た驚かした
つをシヤ
使場ジ
を会“マ
ブで”さ
ロープ
手かせ
ン



講演する榎山富次
栗橋支部長

ロープマジックで楽しみ 栗橋支部の取組みに学ぶ

9月29日、北埼玉ブロックの決起集会は、マジシャンのり(三宅典之行田支部長)の手品で始まり、参加されたみなさん、のりのり。そのあとは、栗橋支部長の榎山富次さんから、「栗橋方式」誕生の講演があり、栗橋地域の全戸配布は3周目に入っていると聞いてみんなびっくり。仲間増やしでは県が提起した5%達成へ向け頑張ると決意されました。

秋の仲間増やし月間

秋の仲間増やし月間が始まりました。県下10ブロックで9月の月間準備期間に「仲間増やし・目標達成決起集会」を開き、意思統一をしています。

仲間増やし取組みの成功の第一のカギは、全員で取り組むことができるかどうかです。「あの人に声をかけてみよう」「自分は動けないけれど、役員さんに訪問してもらおう」「あの人にお誘いの手紙を出してみよう」「あの人を楽しいサークルや支部行事にお誘いしてみよう」など、何か出来ませんか。

北部ブロック決起集会



寄居のハーモニカで全員 合唱、5%増は必ず達成

北部ブロックは、決起集会の前に寄居支部のハーモニカフレンドによる演奏で参加者全員で合唱。「里の秋」などの「秋の歌メドレー」から始まり、最後に「ふるさと」を歌い楽しいひと時を過ごしました。会議では各支部とも本部が提起した5%増を目標に取り組む決意が報告されました。また、支部役員の年齢が高くなり、「免許返納」で会議がままならない支部もあります。どこの支部でも同じような悩みを抱えていると思います。支部役員の若返りも急務です。最後に、目標に向けて頑張ろうと三唱で閉会。

東部南ブロック決起集会

楽しいことをやって 話ができることは楽しい

り草加勤労福祉会館でおこなわれました。これには、東部南の6支部から21人が参加し、女性は、吉川支部から3人、八潮支部から1人の合計4人の参加がありました。各支部からは、これまでになく多くの人から発言がありました。仲間増やしは、「楽しいことをやっていかないとダメだね。それを実感している」「共済や共同墓などをもっと宣伝しないといけないね」「減少の原因がはつきりしない。対象者は増えているのに、年金者組合は減っている。なぜなのか? なぜ増えないのか? 分析する必要がある」「みんなと合って話ができることは楽しい」「組合に入っていることに安心感がある」「なにかのとき頼りになる」など多くの意見が出されました。東部南、各支部自主目標の合計は41人となりました。

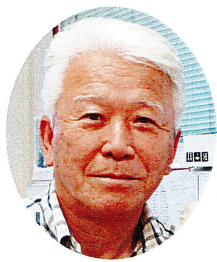
東部南ブロック、仲間増やしの集会在、10月6日(金)13時よ

これまでの月間の取り組み状況

	増	減	実増
2022年・秋の月間	239	159	80
2023年・春の月間	234	148	86

ブロック決起集会

決起集会の力で 目標の達成を



各ブロックでの決起集会で固めた決意をもとに、目標達成のためにすべての役員と組合員が、力を合わせて頑張りました。

津軽三味線、マジクショーなど楽しい企画で盛り上がり、支部間の経験交流が深まりました。私たちの要求を実現するために、多くの新しい仲間を迎え入れようではありませんか。

県本部委員長 宇佐美忠利

東部北ブロック決起集会



北ブロック(9支部)から43名が参加して、盛大に「秋の仲間増やし決起集会」が開催されました。開催にあたり決起集会は、とにかく明るく、楽しく活力溢れる集まりにしようという知恵を出し合いました。杉戸支部の岩田哲也さんに津軽三味線の演奏で盛り上げてもらい、期待通りに雰囲気は最高に盛り上がりました。そのあと各支部から「決意表明」を熱く語られ、活気あふれる決起集会となりました。仲間を増やさなければ、減少するのが宿命と言われている年金者組合です。「入って良かった年金者組合」、「早く入れば良かった年金者組合」、「老け込むのはまだまだ早いぞ年金者組合」これからの人生、充実した毎日を送る為「一緒に活動する仲間」をもっと増やそうではありませんか。本日の決起集会で決意も新たに「県下組合員数9,800人を達成し東部北ブロックの力を見せつけ10,000人の復活をしようではないか」と誓い合いました。

津軽三味線で盛り上げ 活気あふれる決起集会

10月3日、久喜総合文化会館展示室において、東部

さいたまブロック決起集会



7支部目標達成に ガンバロー!!

10月5日(木)さいたまブロック決起集会が大宮、桜木公民館にて開催され6支部から23人が集まりました。老田靖雄支部協議会事務局長の司会で始まり、矢島啓子県本部書記次長が県本部方針を話されました。講演は、前島英男さいたま地区労協議長が行い、「この協議会には、年金者組合から3支部が加盟している。仲間増やしは目標を明確にし、動く人を増やすことが大事である」と話されました。その後6支部と女性から発言がありました。最後に「各支部が目標達成に向けてガンバロー」を櫻井新二議長の音頭で三唱して終わりました。

10月5日(木)さいたまブロック決起集会が大宮、桜木公民館にて

西武沿線ブロック決起集会

楽しい企画が盛り沢山 すべての支部で成果を上げよう

9月28日(木)、秋の仲間ふやし決起集会を開催し、総勢9人の参加でした。八木県本部副委員長より県本部の現状と目標の達成に向けて話され、「すべての支部で成果を上げるように頑張りました」との挨拶がありその後、各支部の自主目標と取り組みの状況や今後の計画等を交流しました。その中で、すでに加入のある支部報告もあり、10月と11月の取り組みがカギになるので各支部の計画に大いに期待すると同時に、質問と意見が活発に飛び交いました。所沢は芋煮会や日帰りバス旅行の計画、また加齢性難聴問題では市議の各会派と懇談、12月に請願を予定しているなど。狭山は、農園収穫祭、バスツアー(共同墓見学)、また補聴器問題では担当課との懇談や市の民生費予算の学習、入間は、平和のための戦争展、俳句の会、江戸街散歩(深川)など、飯能は、9月30日の20周年記念文化祭開催で楽しい企画が盛り沢山ある事、日高は11月に飯能・日高合同で1泊旅行を計画している事や月間拡大専門部会を検討していきたいとの発言もありました。

9月28日(木)、秋の仲間ふやし決起集会を開催し、総勢9人の参

秩父支部

ぶらり旅

みやまの花園から寺坂棚田へ

梅澤 俊雄



曼殊沙華は咲いて
いるかと心配を抱え
て、荒川小野原にあ
るみやまの花園へ。
桜の木陰に、咲き
だしたヒガン花をみ
つけ、みんな笑顔に
なる。斜面を下り、
平地の畑に降りて行
くと、花の茎の伸び
も見られず。例年な
ら畑一面が赤く染ま
るのに、猛暑の影響

がここにもかと寂し
くなる。

休み処に写真が展
示。春夏秋冬と年間
を通して見られる花々
が見事で、他の季節
にも訪れたくなる。

上田野のそば畑を
みて、寺坂棚田へ移
動。田は黄金色に染
まり、稲架かけの稲
が一部に。田を縁ど
るはずの曼殊沙華は
見られず残念。

東屋の上の道
路から武甲山を
正面に見て棚田
をしばし眺め入
る。
渴いた喉をお
冷やのお代り
で潤し、美味し
いおそばを食
して解散する。

杉戸支部

4人が挑戦

秩父の山なみを堪能

江口 光政



9月1日(金)組
合員4人で、初秋の
秩父芦ヶ久保の丸山
登山に行きました
(写真)。

納涼ビアパーティー 組合員3人 町議選 当選

8月26日(土)近津
会館で支部の納涼ビ
アパーティーを行い
ました。8月の町議
選に支部の組合員3
人が挑戦し、全員が
当選した激励をかね

標高1000m以上を
きる低山ですが、登
山口から山頂までが
遠く登りきるのに苦
劳しました。山頂の
展望台では360度
視界がひろがり、武
甲山をはじめ秩父の
山なみを堪能しまし
た。山頂で昼食をい
ただき下山、駅前の
道の駅で冷えたビー
ルでのどを癒して帰
途につきました。

て開かれました。

岩田哲也さんによ
る津軽三味線の演奏
や当選した副支部長
北出恵造さんによる
決意表明がありまし
た。

自慢のサークル紹介 11

朗読劇サークル

岩槻支部



6月のお誕生日会
で、組合員有志によつ
て演じた朗読劇「瞼
の母」。
5歳の時に別れた
母を思い続ける番場
の「忠太郎」、その
母「おはま」、妹
「お登世」の熱演と
臨場感溢れる三味線
の音色が涙をそそり

会場は拍手喝采!!
「朗読劇っておも
しろい。」「私もやっ
てみたい。」「楽し
そう」などの声があ
り、8月末に6人で
産声をあげました。
その名も「はぐれ雲」。
なんとも風流な楽し
い響きです。

その後、入会希望
者が増え、現在11人
になりました。9月
29日のお誕生会に向
けて「松山鏡」を練
習中です。基本の発
声練習、早口言葉も
しっかりやり、衣装
をつけるるとみんな役
になりきり、誰かを
演じるって楽しくて
面白い。みんな生き
生きと真剣に目が輝
いています。

高田久枝

「はぐれ雲」が発足しました



今月の絵手紙

榎本博子
菖蒲支部



松伏支部では、9月14日(木)、4年ぶりとなる「日帰りバスの旅」を行いました。この日は、30度以上にもなるとい

支部だより

松伏支部

楽しかった 4年ぶりのバス旅行



う暑い中で、15人(男性3人、女性12人)が参加。最初に栃木県小山市にある「おかしパーク」の蛸屋に寄り、

お菓子の詰め放題。ビニール袋に3個入ると元が取れるそう、6個入れた人もいた。次は那珂湊の森田

水産で、刺身定食と買い物。ここでは外国人が多いのが目立った。

最後に寄ったのは、茨城県千代田町の「ブドウ狩り」。ハサミで切って、取れたて食べ放題。帰りはビンゴゲームで景品がたっぷり。予定より早く到着。代金は8000円でした。

年金者組合のバスの旅に初めて参加した女性からは「とても楽しかった」との感想をいただきました。

(バスは、地域松伏町の「東武松伏サービス」の小型・18人乗りを頂きました)

金橋孝男

【募集】この秋に作品展を行った支部は写真をメールで県本部に送ってください。

年金文芸

短歌

八月は「平和」の行事多けれど
テロのニュースに胸痛む日も

藤田悦子 (大井)
どこまでも地下茎伸ばしたたかに
芽吹くヤブカラシ根絶やしせんと

北爪百合子 (岩槻)
朝夕を遺影の夫の笑い顔
泣きつつらなどたまにはせぬか

俳句

「はだしのゲン」あらためて読む原爆忌
小倉洋一 (富士見)

村度も駆け引きも無し蝉の羽化
金子まさ江 (越谷)

水遣りのシャワーに懸る虹二重
佐藤勝男 (上尾伊奈)

川柳

朝顔も熱中症枯れもらい水
笑田 (蓮田)

カジノより助け合う街作ろうよ
きたかみのぼる (熊谷)

いつの間に災害だけは大国に
河村 斌 (川口)



【写真上】第2部は山崎利彦氏の進行でパネルディスカッションが行われました。
 【写真下】「保険証廃止がもたらすもの」という演題で講演する荻原博子さん

「市民学習会」

共催 埼玉弁護士会
 埼玉県保険医協会

「保険証残して」の
 もっとももっとも拡げよう

荻原博子さんが講演

10月7日、埼玉会館小ホールで「市民講座」が開かれまして。今問題になって

医療現場、患者はどうかという企画です。第一部では4人の

竹田智雄氏が、市民の立場から埼玉建設の竹嶋順二氏が、マ

イナ保健証の問題点

を埼玉弁護士会の瀬戸一哉氏が報告しました。
 荻原博子さんは、様々な状況、問題点を指摘した後、これが実施されたら数年後には無保険者が若者からも、高齢者からも増え皆保険制度が崩れると警告。
 二部のパネルディスカッションではどなたも「メリットが一つもない」「場当たり的に決めたので次から次と問題が生じる」と批判。
 受診できないとか受診料が10割負担になることが生じる可能性もあります。
 保険証を使い続けること、「残せ」の署名を拡げることを確認していました。

入ってよかった共済

万が一事故に遭ったら
 領収証はしっかり保管を

今年の1月3日、志木駅南口スクランブル交差点を自転車で渡り、車道から歩道へ乗り上げる際にスリップして左に自転車ごと倒れてしまいました。

親切な方が車を停めて病院まで送ってくれました。お医者さんの診断は、左上腕骨近位端骨折と親指骨折。治療とりハビリで半年間も医者通いました。

分会の人に手続きを教わり、お医者さんの領収証は保管しておいたつもりですが、2枚ほど紛失してしまい、給付申請の対象から外しました。

皆さん、高齢者の自転車は、段差にも気を付けましょう。万が一事故に遭った時は、領収証はしっかり取っておきましょう。

いろいろ教えていただき、無事給付金が振り込まれました。ありがとうございました。

新座支部 小泉みち子